



## 連携センターだより

VOL. 49

R7.11

発行：(医)如水会今村病院 連携センター TEL 0942-87-1577 FAX 0942-87-1580

## ～ ノロウイルス対策には ～

今村病院 感染対策委員会

ノロウイルスによる食中毒は、11月～3月が発生のピークとされていますが、皆さんご存じの通り、1年を通じて発生しています。ノロウイルスによる食中毒がひとたび発生すると、集団発生となることも多く、また、抵抗力の弱い乳幼児や高齢者は重症化しやすく、特に注意が必要です。ちなみに一度かかっても、何度も感染を繰り返すと言われています・・・。

ノロウイルスは非常に小さいため、皮膚表面のシワ等の凹凸に入り込み、また、アルコール消毒の効果が低いため、**石鹸等を用いた手洗いでしっかり洗い流すことが重要です。**

潜伏期間は12～48時間とされており、**突発的な吐き気や嘔吐が特徴的で、症状は1～3日で軽快するが、高齢者、特に寝たきりの方は誤嚥性肺炎を合併するリスクが高くなる。**



## 検査方法

**便による抗原検査（3歳未満、65歳以上は保険適応）**で簡易的に調べることができます。

## 治療

抗ウイルス薬はありませんので対症療法となり、重症化しやすい高齢者では、**脱水を予防・改善するために点滴療法**が行われることとなります。

**適切に処理しなければ、環境が汚染され、感染が拡大してしまう恐れがある**

ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあるので、吐物などは速やかに処理する必要があります。

- ①窓を開け換気できる環境にしましょう。
- ②マスクやエプロン、手袋を着用し、ペーパータオルや新聞紙で**広範囲を静かに**拭き取ります。小さなしぶきの中にも多数のウイルスが潜んでいます。
- ③**次亜塩素酸ナトリウム**で消毒し、水拭きをします。



環境面、使用後の物品		吐物処理	
200ppm = 0.02%		1000ppm = 0.1%	
水	原液	水	原液
500ml	5ml	500ml	8ml

ノロウイルスは、少量のウイルスでも感染が成立するため、感染者からの他の人へ伝播させない対応が重要です。**徹底した石鹸による手洗いが重要**であり、消毒には次亜塩素酸ナトリウムを用います。